

認定こども園せんだい幼稚園 園長 田原 慎也
[http://www.s-kinder.com /index.html](http://www.s-kinder.com/index.html)

●10月のひとコマ(運動会)

運動会を無事に終えることができました



例年は6月に実施している運動会。風邪をひいているわけでもないのに国民のほとんどがマスクをして過ごす春・夏、という誰もが想定しなかった事態を目の前に、10月に延期することを判断しました。しかしながら、鹿児島国体延期の余波により会場使用ができなくなり、さらに1週後に再延期。



運動会の開催に向けて、事前に総合運動公園のメインアリーナを職員で改めて見学させていただき、感染予防対策をとった上での開催のあり方について、何度も繰り返し協議を重ねてきました。参観の方同士の距離を確実に取るということで、今回の運動会では誠に勝手ながら「氏名順・学年順」で1階から2階へと席の指定をさせて頂きました。場所によっては見えにくい、移動が大変などご不便をおかけしたかと思えます。他にも参加者数制限や体調確認表、入退場口・階段の指定など多くの制限を設けた中での開催ではありましたが、保護者の皆様がよくルールを理解してくださり、ご協力していただいたことで、大きな混乱もなく、会をスムーズに進行することができました。



運動会中の競技用具の出し入れや審判係にご協力いただいた GENKI 会(お父さん)の方々にも前日準備から当日の片づけまで本当にお世話になりました。今年度で卒園(幼稚園がおそらく最後)というメンバーが多い中で、最後の最後までご協力頂けたことに本当に感謝しています。また、会終了後に片づけをしようと2階に上がると、「保護者の方が運動会中に、貼り紙などを撤去してくださっていたんです」と、すでにきれいな状態になっている2階。階段を駆け上がった疲れどころか、昨日からの疲れまですべて一瞬で吹き飛びました。本当に何から何まで関わったすべての方に支えられた運動会だったと実感しました。



今だから言えることではありますが、感染をしない・させないという観点から考えれば考えるほど、「運動会を実施すること自体がリスクなのではないか」という意見を否定できないわけで、リスクテイクしてまで運動会をする意味とは何なんだろう?という問いでぐるぐるとしていたこともありました。今、まさに世界中の人々が場所は違えど同じ困難にぶつかっています。その困難に目をそむけるでもなく、なかったかのように振舞うのではなく、無視するでもなく、正しく構えて、みんなが理解し、協力すれば困難は乗り越えられる、そんな姿や光景を保護者の方・先生・職員の方で、子どもたちに残せたことが何よりの「運動会を実施したことの意味」だったのかなと感じています。本当にありがとうございました。